

俺の現場！

大船渡港永浜地区 海岸防潮堤(その2)工事

皆さんの現場のこだわりや、プライドを持って働く姿を紹介するこのコーナー。今号では、SさんとM.S.さんに現場の特色や22年間共にお仕事をしていたお父様のお話などを聞きしましたので、ぜひご覧ください。

遠野 工事長

M.S.さん

大船渡港永浜地区
海岸防潮堤(その2)工事

場所 岩手県大船渡市

人数 多田工務店 4~5名



現場は海の目の前！？

防潮堤の工事なので、漁港の中に現場があり目の前が海というところが他の現場と異なることだと思います。防潮堤は津波や高波が来たときに波を防ぐための壁で、低いところでは3.5m、高い所は7mあります。

大変なところ

風が強いです。以前近くで仕事をしたとき、型枠を抑えていた木材が強風によってベニヤ板を突き破ってしまったことがあります。また海の反対側がすぐ道路なので、型枠材をクレーンで移動させる際に道路に出てしまわないかが心配です。このようなことが起こらないよう、常に整理整頓をして資材が飛ばないよう気を配る必要があると思います。



お父さんと一緒にできる仕事もあと少し…

高校卒業してからずっと父と一緒に仕事をしており、型枠のことなど基本的なことや工事の段取りについてなど様々なことを父に教わりながらここまできました。今回の現場にも父はいるのですが、11月いっぱいで引退します。今まで約22年間当たり前のように父と一緒に仕事をしてきました。父は年が明ければ73歳になるので怪我をしないか心配で気を遣っていたところはありますが、未だ技術面では及ばないところが多々あると思います。

今後の目標

他の人がやっていないような、オリジナル枠の組み方などを生み出せたらいいな、と思います。また父から私が様々なことを教わったように、私も若い人たちにこれまで自分が教わったことを教えていたらと思います。



M.S.さん

H.K.さん

S.I.さん

T.S.さん

TK plus

vol.15

2021年12月25日発行